

次期湯沢市総合戦略策定関連事業

～ゆざわの若者で語り合おう！～ 市民ワークショップ

開催報告書



YUZAWA
CITY

令和6年 10月

湯沢市

目次

1. ワークショップ概要	1
2. スケジュールについて	1
3. ワークショップ内容	2
3.1 挨拶 スケジュール説明など	
3.1.1 ワークショップのルール説明	
3.1.2 名札の作成	
3.1.3 リーダー決め	
3.2 アイスブレイク（ペーパータワー）	
3.3 事前アンケート記入	
3.4 湯沢市の現状や取り組みに関する説明	
3.5 ワークシートの完成	
3.6 休憩	
3.7 表現ワークショップ「みらいのゆざわをデザインする」	
3.7.1 「みらいのゆざわ」をデザインする	
3.7.2 アイデアの共有	
3.7.3 アイデアシートの記入	
3.7.4 「スペシャルアイデア」の決定および発表会	
3.8 事後アンケート記入	
3.9 閉会	
4. ワークショップの成果	8
4.1 湯沢市民の視点から湯沢市の未来に対して感じる気づきの抽出について	
4.2 湯沢市の課題に対して、市民が考案したアイデアの収集について	
4.3 ワークショップ参加者の湯沢市の未来に対する意識変容について	
4.3.1 事前事後アンケートの5件法の回答について	
4.3.2 自由記述回答「未来の湯沢市はどのようなになっていると思いますか」について	
4.3.3 自由記述回答「本ワークショップの感想を記入してください」について	
5. 付録	40
5.1 ワークシート「興味マップ」	
5.2 ワークシート「アイデアシート」	
5.3 事前・事後アンケート	
5.4 リーフレット	

1. ワークショップ概要

タイトル	～ゆざわの若者で語り合おう！～市民ワークショップ
開催日時	2024年9月23日（月・振）13:00-16:00
開催場所	湯沢市役所本庁舎2階会議室25・26
参加者	①湯沢市内に住所を有する若者（15歳～39歳） 20名 ②湯沢市地方創生推進会議委員 4名 計24名（うち1名途中退席）
目的	①湯沢市民が湯沢市の未来に対して感じる気づきの抽出 ②湯沢市の課題に対して、市民が考案したアイデアの収集 ③ワークショップ参加者の湯沢市の未来に対する意識変容

2. スケジュールについて

表1 スケジュール概要

13:00-13:10	挨拶 スケジュール説明など（10分）
13:10-13:30	アイスブレイク（ペーパータワー）（20分）
13:30-13:35	事前アンケート記入（5分）
13:35-14:15	湯沢市の現状や取り組みに関する説明(40分) ① ワークシート（興味マップ）の説明（5分） ② 湯沢市の現状や取り組みに関する説明（35分）
14:15-14:40	ワークシートの完成（25分） ① ワークシートの記入（10分） ② チーム毎のワークシートの共有（3分*5名=15分）
14:40-14:55	休憩(15分)
14:55-15:50	表現ワークショップ「みらいのゆざわをデザインする」（55分） ① 概要説明（5分） ② 個人アイデア制作（15分） ③ チームでアイデアを共有（2分*5名=10分） ④ アイデアシートの記入（10分） ⑤ チームのスペシャルアイデアを選出(5分) ⑥ 各チームのスペシャルアイデアの発表（2分*5名=10分）
15:50-15:55	事後アンケート記入（5分）
15:55-16:00	閉会（5分）

3. ワークショップ内容

3.1 挨拶 スケジュール説明など

3.1.1 ワークショップのルール説明

株式会社アクトラスの眞田(司会進行)よりご挨拶の後、ワークショップのルール説明を行った。「色々な考えを歓迎する」「積極的に反応する」「自由に考える」の3つを本ワークショップの姿勢として紹介した。

3.1.2 名札の制作

ニックネームを記した名札の制作を実施した。

3.1.3 リーダー決め

各チーム（1チーム4～5人で全5チーム）の進行を行うリーダーを決定した。選定方法はチームに委ね、相談や推薦、じゃんけんによってリーダーを決めるチームが見られた。

3.2 アイスブレイク(ペーパータワー)

チームの雰囲気づくりを目的として、チームで協力してA4用紙を使用し高いタワーを作る「ペーパータワーゲーム」を実施した。170cmのタワーを作るチームや、ルールの穴をついたアイデアを展開するチームがあるなど、全てのチームで活発な議論が見られた。



3.3 事前アンケート記入

参加者の皆様の意識変容の評価を目的とした事前アンケートを実施した。5.3 に具体的なアンケート内容を記載している。

3.4 湯沢市の現状や取り組みに関する説明

湯沢市役所 総務部企画課 佐藤裕志 主任より、湯沢市の現状や取り組みに関する説明を行った。市民の皆様にワークシート「興味マップ」を配布し、説明の中で気になった言葉や情報である「興味キーワード」のメモをとりながら説明を聞く時間とした。



3.5 ワークシートの完成

ワークシートに記載した興味キーワードから発想を広げ、市民の皆様が感じた「思いつきキーワード」を記入していただいた。記入後、自分が書いたキーワードをチームで共有し、さらに自分の興味マップを充実させる時間とした。



3.6 休憩

休憩中も興味マップの共有を続けるチームがあり、活発な議論が見られた。

3.7 表現ワークショップ「みらいのゆざわをデザインする」

3.7.1 「みらいのゆざわ」をデザインする

作成した「興味マップ」を参考に、さまざまな素材（紙コップ、段ボール、ペンなど）を使って、「みらいのゆざわ」をデザインする時間とした。駅前アーケード、新しい施設、湯沢市全体のコンセプトデザインなど、さまざまな視点から発想し、手を動かしながら考える様子が見られた。



3.7.2 アイデアの共有

チームの中で、アイデアの共有を行った。湯沢市の課題に対する自分の視点、ユニークな解決方法を共有し、アイデアの理解を深めた。

3.7.3 アイデアシートの記入

制作した自分のアイデアについて、ワークシート「アイデアシート」への記入を通じて、表現しきれなかったこと、新しく思いついたことを考え、アイデアの深掘りを行った。

3.7.4 「スペシャルアイデア」の決定および発表会

チームで相談し、「スペシャルアイデア」を決定した。スペシャルアイデアの考案者は参加者全員に対してアイデアを発表した。



3.8 事後アンケート記入

参加者の皆様の意識変容の評価を目的とした事後アンケートを実施した。5.4 に具体的なアンケート内容を記載している。

3.9 閉会

湯沢市役所 総務部企画課 阿部透 課長が閉会の挨拶を行った。



4. ワークショップの成果

4.1 湯沢市民の視点から湯沢市の未来に対して感じる気づきの抽出について

興味マップに記載された「思いつきキーワード」の中から湯沢市の未来に対する市民の皆様の気づきを抽出し、分類した。抽出にあたり、「重複した記述」「整理するためのメモと思われる記述」「市の未来に対する気づきとして分類が困難な記述」など、分類ができない記述を取り除いた。

表2 「興味マップ」思いつきキーワードの分類

分類	思いつきキーワード
医療	病院が遠い お医者さんが少ない 大きい病院が遠い 総合病院が市の中心部にできて欲しい
娯楽	学校帰りに寄れる場所がない 遊ぶ場所が少ない 気軽に立ち寄れる所がない こどもが遊べるところが少ない 物が少ない 都会にはいっぱいある (電車)1時間待ちでも時間潰せる所あまりない お祭りのときの花火の打ち上げをやめないでほしい 駅前におみやげ屋さんができて欲しい 自治組織：お祭りを若者中心に うどん EXPO の参加人数の減少 「遊ぶ」→時間かけてでも出て行く チェーン店が少ない 余暇すごせる場所の充実
結婚	晩婚化が進んでいるからこそ、婚活や出産のサポートが必要 出会いの少なさ 収入があっても出会いがない場合がある 結婚＝幸せ？
仕事	人手不足 企業が少ない 女性の雇用関係の違い 働く女性増→自立できるから結婚しない傾向 キャリアつみたくてもつめない家庭事情 長く居れるところが少ない (就職先について)

	<p>選択するところが少ない（就職先について）</p> <p>高校生が働く時に市外や県外に行く人が多い</p> <p>働きやすい環境と働きたいと思う仕事を増やす</p> <p>自分の家、保育園、学校に近い職場が欲しい</p> <p>柔軟に対応してくれる職場だったらいい（時間・休み・働き方・現場の場所）</p> <p>定着率悪い(特に女性)</p> <p>高校生より大学生が興味をもつ仕事を</p> <p>仕事で活躍できる場所が少ない</p> <p>他市のほうが給料高い</p> <p>産休・育休で人手不足→シワ寄せ→「子供欲しい」が言えない</p> <p>産休・育休、人が配置されない、周りにシワ寄せ タイミング取れない</p> <p>産休・育休を取ると人が足りなくなる</p> <p>(産休・育休に関連して)仕事が増えた分給料 UP して欲しい</p> <p>安定した就職先</p>
育児	<p>子供を土日みてもみてる場所が欲しい</p> <p>自然の中で伸び伸び成長して欲しいし、そういう育児をしたい</p> <p>子供減少で親も苦勞している スポ少の送迎</p> <p>(子育て世代の負担について)小さい時より、中高大の負担が大きいかも</p>
交通	<p>電車 1 本逃したら遅刻</p> <p>電車が少ない 逃したら終わり</p> <p>これ以上電車の車両が減らないで欲しい</p> <p>バスが手を挙げれば止まるようになって欲しい</p> <p>運転手人手不足</p>
冬の生活	<p>雪かきが面倒</p> <p>雪の多さ</p> <p>冬の大変さ</p>
景観	<p>空き店舗</p> <p>廃墟目立つ、衰退の一途、住む魅力を感じない</p> <p>廃墟が多い、更地にしてほしい</p>
高齢化	<p>デジタル化が遅い→スマホの講習会(高齢者向け)</p> <p>老人ホームにいることは幸せ？</p> <p>これまでの湯沢市を支え続けた彼ら(高齢者)の幸福度は？</p> <p>(高齢者が)最後まで秋田に残った理由は？</p> <p>もっと高齢化進む。介護福祉分野手厚く</p>
考え方	<p>現状の生活に何も思わない。高望みしていない。</p> <p>稼ぐより、自分の時間</p>

	都会の学生は田舎に興味がない
教育	<p>家から通うことができる大学がない</p> <p>→どうせ一人暮らしなら県外に行きたい</p> <p>秋田県立大ならギリギリ通うことができる</p> <p>湯沢に学校が少ない</p> <p>学校や就職先がない、せまい</p> <p>進学したい。秋大までここから通うのは難しい。</p>
行政	<p>税ばかり重くなるのでは</p> <p>色々な活動はしているけど、知名度が低い</p> <p>良い取り組みをアピールして欲しい</p> <p>費用の助成の所得制限をなくして欲しい</p> <p>今いる人の幸せを保障すべき</p> <p>県内の市に興味魅力があるが、湯沢市にパワーがない</p>
湯沢の魅力	<p>湯沢の自然に魅力感じる人たちが移住してくれる湯沢</p> <p>(地元愛に関連して)担任と野球部(先生たちも)と一緒にラーメン屋に行く</p> <p>空気おいしい、食べ物・自然が豊か</p> <p>小安峡の紅葉よく見に行く</p> <p>土地が安い</p>

4.2 湯沢市の課題に対して、市民が考案したアイデアの収集について
表現ワークショップで制作された23のアイデアを以下に記載する

表3 アイデア No.1

タイトル	ニアーヘブン
キーワード	人口減少 医療設備の充実化
説明	<p>「天国の近く」ということで、退職した県外の高齢者を集め、残りの人生を幸せに過ごせる完全無償マンション。</p> <p>特区(都市モデル)として資金を国から出してもらうことで、無料で住むことができます。最低限の商業施設がそろっているため、人はたくさん来るでしょう。市内循環型バスがマンションの前を通過しており、利用料金は1乗車100円。アクセスが充実しています。マンションの1階には医療機関部屋があり、普段の健康診断はもちろん、もし何かあったときでも駐車場にある救急車が助けてくれます。また、ここに住んでくれた方の親族が遊びに来た時には、湯沢の良さを知ってもらうきっかけになるかもしれません。</p>

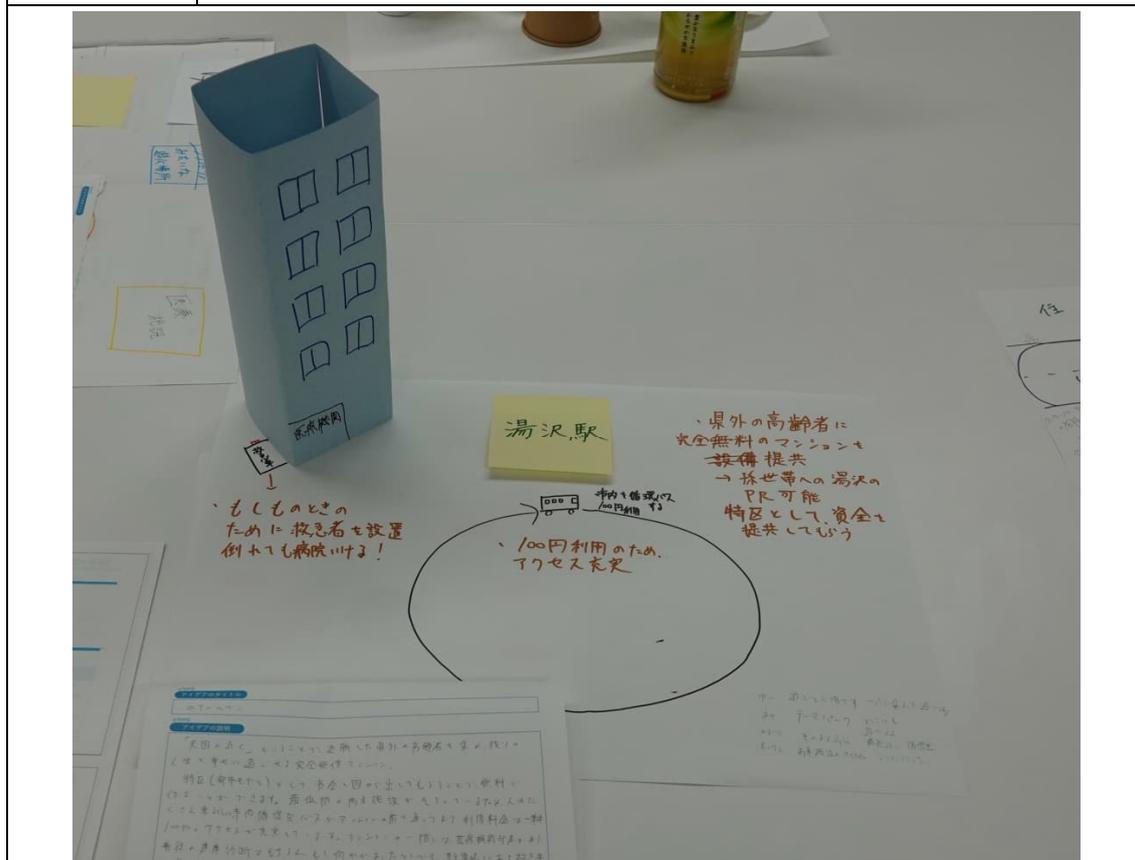


表4 アイデア No.2

タイトル	ペットにもやさしい湯沢
キーワード	学校帰りによれる 病院が遠い 遊ぶ場所が少ない
説明	<p>徒歩、自転車でもどこでも行ける</p> <p>十文字街モデル</p> <p>球場アリーナでイベント、フェス等誘致←外からのお金</p> <p>高齢者住×子供達→近くに田畑</p> <p>ドッグラン付き公園</p> <p>ペット OK の商業施設→犬っ子祭、七夕祭、ペット連れ対応</p> <p>高度医療のできる動物病院×1 かかりつけ医×1 住診専門医×1</p> <p>雪寄せがいない</p> <p>AI センター</p>

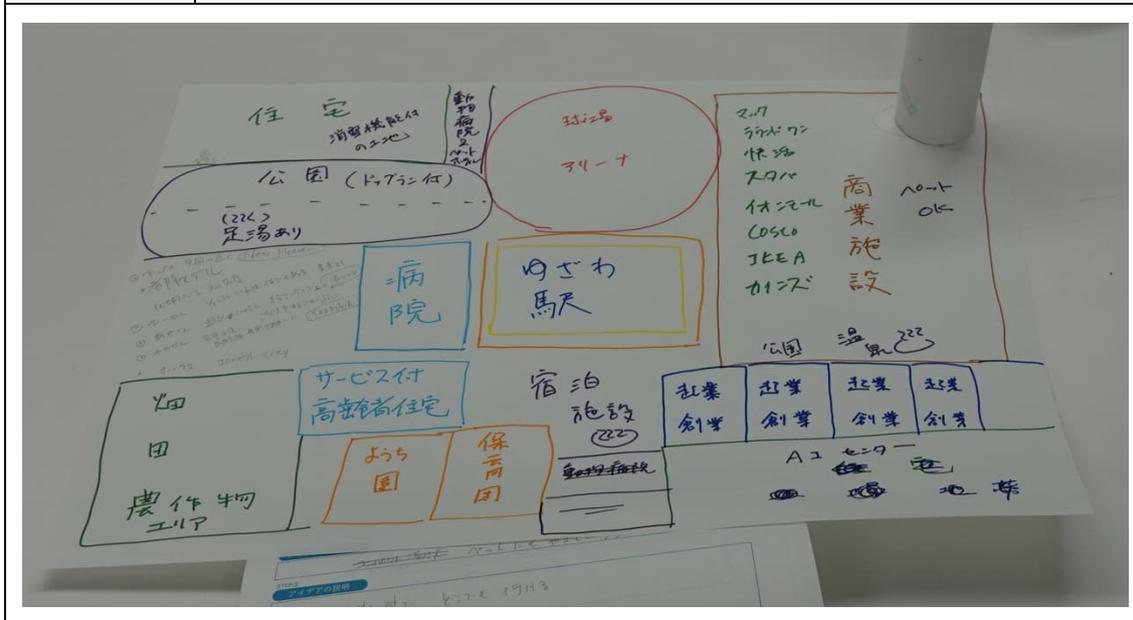


表5 アイデア No.3

タイトル	未来都市
キーワード	医療→病院遠い 気軽に食べられる場所 遊べる施設
説明	横手や秋田市内をもう少し発展させた場所 →暮らしていく為に必要な施設などが1箇所に集約されている+遊べる施設を増やして、もっと人が集まる場所にする

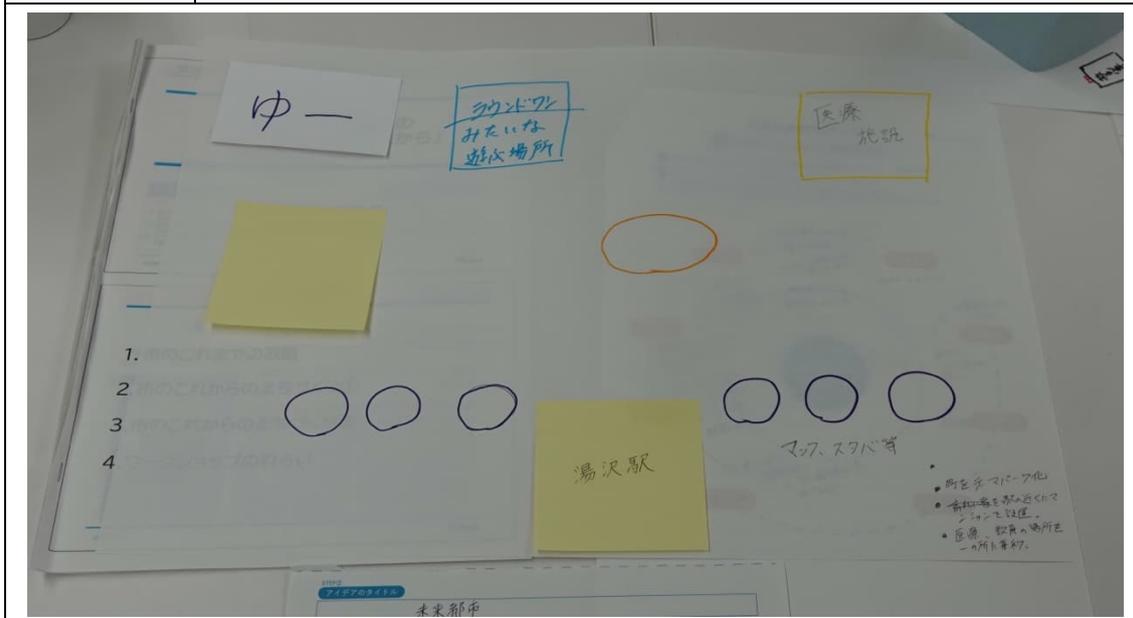


表6 アイデア No.4

タイトル	楽園～ユートピア～
キーワード	娯楽の充実
説明	<p>多くの人々が楽しく、より充実した毎日が暮らせるように</p> <p>「遊びの中に暮らし有り」</p> <p>県外・市外の人たちにより楽しく、たくさん遊んでほしい仕掛けがたくさん</p> <p>町全てがアトラクション</p>



表7 アイデア No.5

タイトル	そのまま湯沢（今の湯沢の問題点をそのまま改善する!!!）
キーワード	社会減 自然減
説明	<p>乳児子ども園：今後の子どもの数が減少していくことをふまえ、市内中心部に子を預ける施設を設置、集約することで、保育士の雇用確保</p> <p>独居高齢者：長屋（？）的なものを作り、福祉サービスの届きにくい方をサポートする。雪下ろし、夏のクーラー未設置などの現在の課題を解決</p> <p>医療機関：横手以南の医療圏の確立</p> <p>専門的な分野を学べる学校：企業誘致をし、そこへの就業に有利な学びが叶う学校→就職のあっせん</p>



表8 アイデア No.6

タイトル	他から人々を呼べるコンパクトシティ
キーワード	人口が減っても湯沢に住む人が幸せに暮らせるまちづくり
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沢に住む人が使える 遊べる 安心できる施設 →アリーナ、プール、スタジアム、病院、マンション、介護施設 ・他から人が来て使える、遊べる、安心できる施設 →湯沢市のファンになってもらい定住してもらう ・コンパクトにすることで限られた人数で良いサービスにできる ・駅を中心に →アクセスの利便性UP →各施設のコミュニケーション →企業誘致

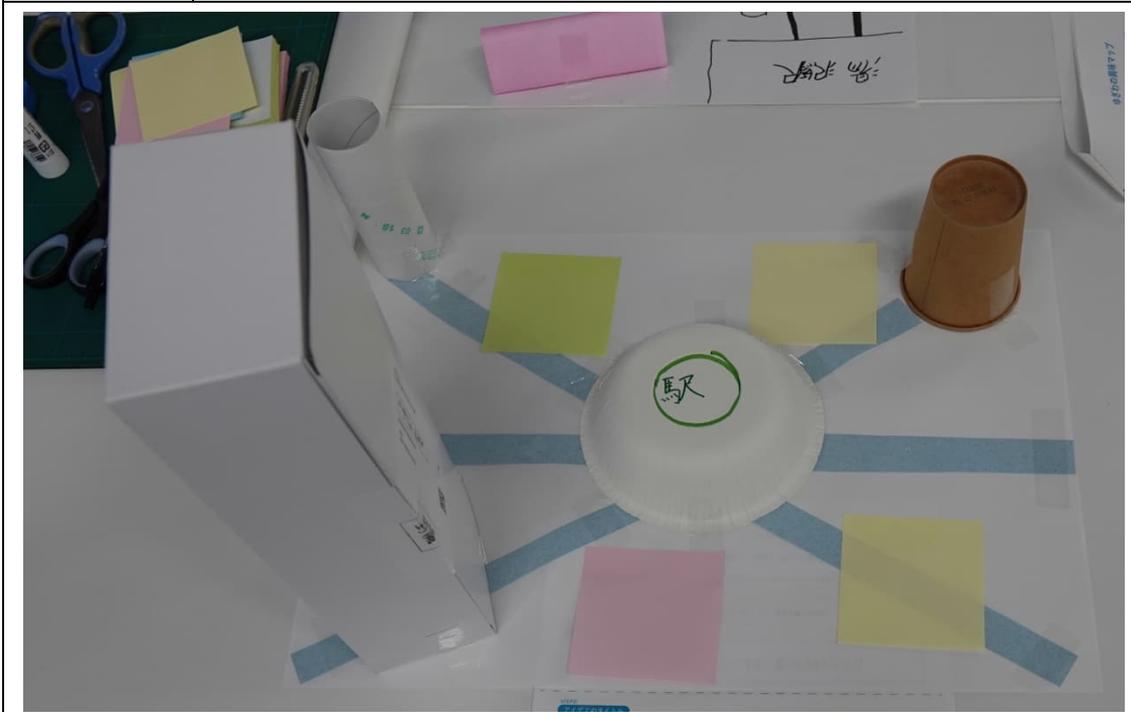


表9 アイデア No.7

タイトル	どんな人でも住めるコンパクトシティ
キーワード	交通の不便さ 医療福祉の充実
説明	高齢者やハンデがある人だけが住む集合住宅ではなく、子育て世代や単身世帯でも暮らせる集合住宅。互いに助け合いながら生活し、互いに関心を持って暮らせるように。公共施設だけじゃなく飲食店やカフェ、ワーキングスペースなど、気軽に外に出て充実した日々を得る。医療福祉も不可欠なので中央病院規模の病院・介護施設が街中にあれば安心できるのではないか。湯沢駅付近にコンパクトシティを構想することで、通勤・通学・移動をもっと自由に。もちろん、一軒家がまわりにたくさんあっても OK。みんなで暮らす湯沢に。

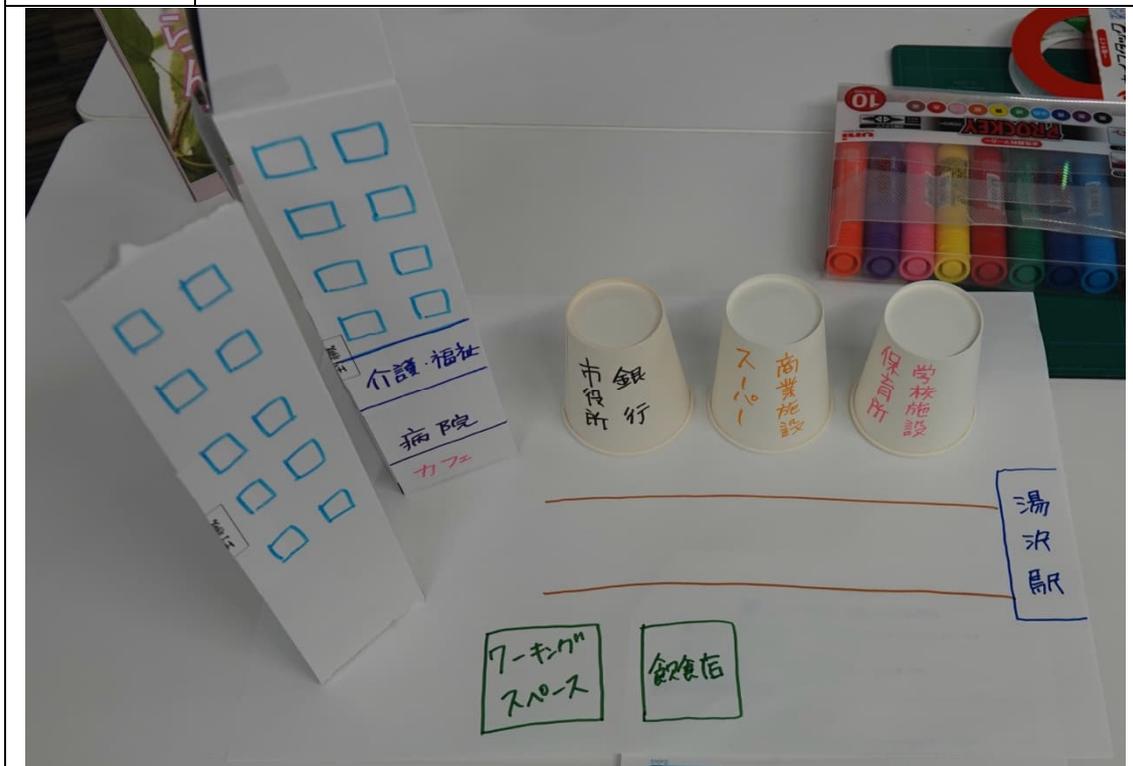


表 10 アイデア No.8

タイトル	鳥海山と大自然
キーワード	ゆざわローカルアカデミー 大自然
説明	<p>湯沢市は鳥海山が色々な所から見えるので、山の中に子供が乗れるようなゴーカートや、普通車まで走れるような小さなサーキット場を作り、大人～子供まで楽しめて、大自然や鳥海山を見たり感じることができるので、遊ぶスペースとしては充実した場所になると思います。</p> <p>環境にいいとはなりません、山の中なので、湯沢市などへの音の問題はないと思います。</p>



表 11 アイデア No.9

タイトル	YUZAWA ARENA
キーワード	人口減少 若者の県外流出 市民満足度
説明	<p><アイデア> 規模1万人程度のLIVEやスポーツ大会、イベントを開催することができるアリーナ会場を作る！</p> <p><目的> アーティストや選手を応援する方々のほとんどが初めて湯沢を訪れることになる。そういった方に湯沢市の魅力を伝えて、知名度向上や人口増加に繋げる。</p> <p>駅前に1万人もの人が集まることで、その付近のホテルや飲食店など湯沢全体の経済が潤う。</p> <p><場所> 湯沢駅と湯沢市役所の間</p> <p><その他の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に「YUZAWA」というオブジェを作る ・ホテルや飲食店を増やす ・イベントがある日のみ電車の本数を増やす

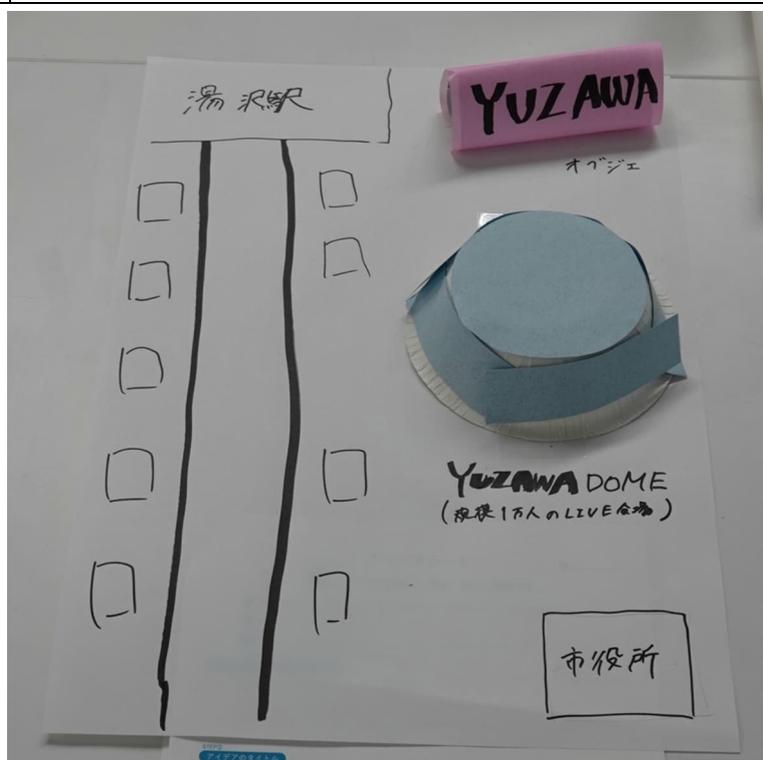


表 12 アイデア No.10

タイトル	Yuzawa 交流パーク
キーワード	シンボル 大人も子供も楽しめる 1箇所で完結
説明	<p>“え?!何コレ??”と思うような目立つオブジェ等があると、話題性があり、注目され、見にくる人が増える。→観光客の増加</p> <p>広い土地に公園・街のシンボル・体験施設・キャンプ場・飲食店等があり、ここに行けば大人も子供も楽しめる（出会いのきっかけの場になるかも）</p> <p>1箇所で完結型のレジャー?施設</p> <p>→1箇所で完結させることができれば、交通機関の整備の範囲をおさえられるのでは?と思った。</p> <p>花や野菜を植えるイベント等で、親子時間も作れる他、若い人たちの出会いのきっかけにもつながれば良いと思った。</p>

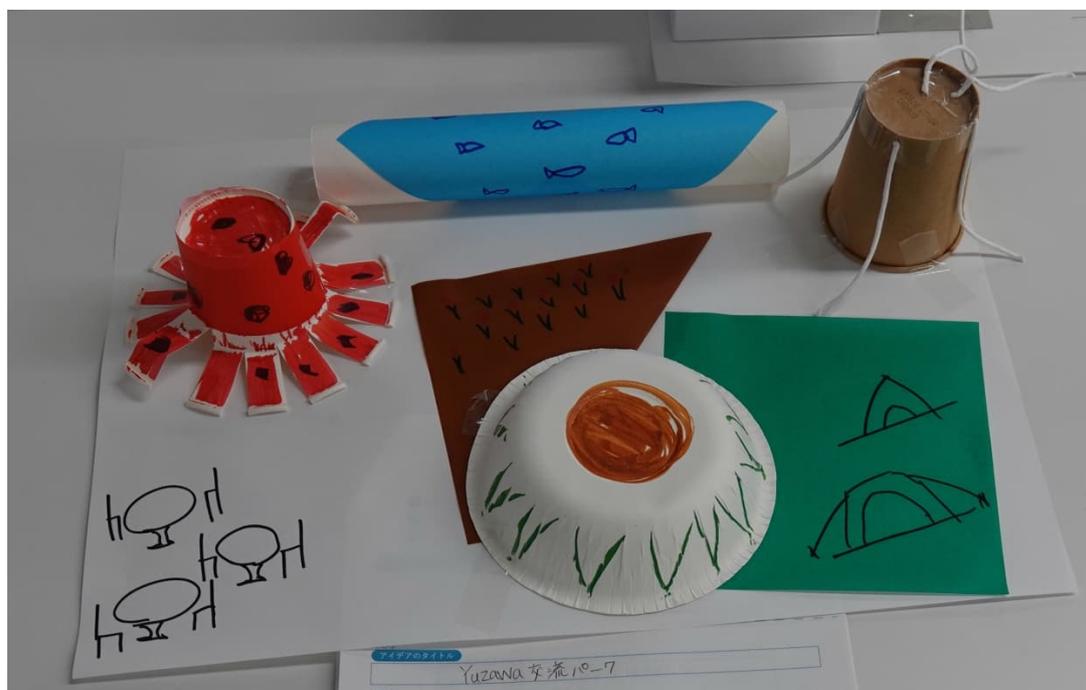


表 13 アイデア No.11

タイトル	こうなってほしい
キーワード	湯沢駅 東口 こうなってほしい
説明	湯沢駅前から近くに勉強できる施設、学校、遊ぶスペース 市役所付近には病院 大型商業施設（店など） たくさんの森林がある 東京五輪にならぶコンパクトシティ することがちかくにあれば、面倒な移動も少なくなる



表 14 アイデア No.12

タイトル	ダイバーシティ in 湯沢
キーワード	人口減少 イベント
説明	<p>自分的に考えた結果、人気のあるアニメやドラマの力を借りて湯沢市を発展させたい！ということで東京はお台場にあるダイバーシティをヒントに作成しました。</p> <p>また、アニメの力として様々なシリーズを機体が存在するガンダムを題としました。</p> <p>これなら多くの人を知っており、他県からも多くの方が来られると思います。建物の中には飲食店や各買い物を楽しめ、店内にはガンプラが実際に作れるスペースがあります。</p> <p>近くにはイベント会場としてライブ等が行われています。</p> <p>アニメの力で有名になった県・地区はたくさんあるので、今回このようにしました。</p>



表 15 アイデア No.13

タイトル	湯沢市の復活！コンパクトで面白みのある町湯沢
キーワード	いこいの場 コンパクトシティ シンボル 人々のつながり 娯楽
説明	<p>湯沢駅周辺に色々な施設を作る</p> <p>例えば、サンロード商店街だったり、昔のデパートだったりを改築して、塾（勉強できる所）野菜の直売所、病院、スーパー、ショッピングモール、お土産などを町の中心に集中させる。そうすることで、住む人が楽しく過ごせて、より人も集まる町になると思う。</p> <p>また、展望台や面白い建物、公園など人を引きつける（魅了する）ようなシンボルがあるといいと思う。（湯沢に限らず、雄勝地区などにも 秋田の玄関口として）</p> <p>みんながつながる、あたたかい町になればいいなというのが私の願いです</p>

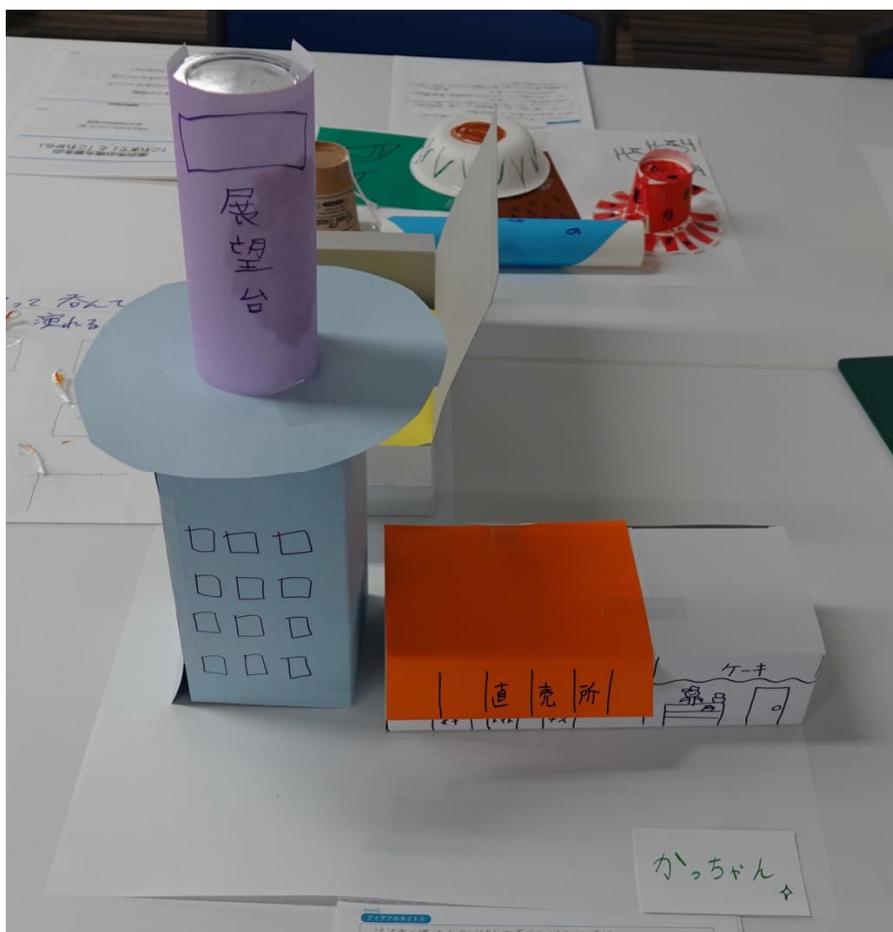


表 16 アイデア No.14

タイトル	学校・仕事以外でもつながる街・湯沢
キーワード	物流の強化、YouTube の活用、雇用、アミューズメントパーク、チェーン店、交通機関、時間つぶしの店、雄勝＝秋田の玄関、地域間交流、バトル、音楽
説明	<p>生活している中で、人間関係が学校や仕事だけという希薄な方は自分も含め多くいると思います。</p> <p>しかし、趣味やペット、または様々なボランティアなど、自分が興味があることでつながれる機会は多くあると思います。</p> <p>地域で行っているコミュニティを官民ともに吸い上げ、市の広報や SNS を通じて、発信していけば、若者や年配者を問わず、きっかけを与えることができます。</p> <p>それをきっかけとし、移住定住にこだわらず、県南を一つのエリアとした関係人口が増加し、それぞれの自治体が活性化すると思います。それが自分にとって音楽で盛り上げられる街・湯沢となることを願っています。</p>



表 17 アイデア No.15

タイトル	良さげな要素を全部放り込んだよ
キーワード	中心地の病院 若者の娯楽 スポーツ、趣味の集い 使い勝手のよいバス
説明	<p>若者が楽しさを感じられるような商業ビル、中にオフィスや企業が入ってもそれはそれで雇用の創出になるのでは</p> <p>高齢者が孤独を感じないように、集える病院と併設された集いの場、気軽に来られて安心できる場であってほしい</p> <p>一通りのスポーツができる大型施設、現状まだ市内でスポーツをできる場所には制限があると思う</p> <p>市内の観光地は魅力的だが、行きづらさを感じる面もあるので、それをカバーしてくれるバス</p>

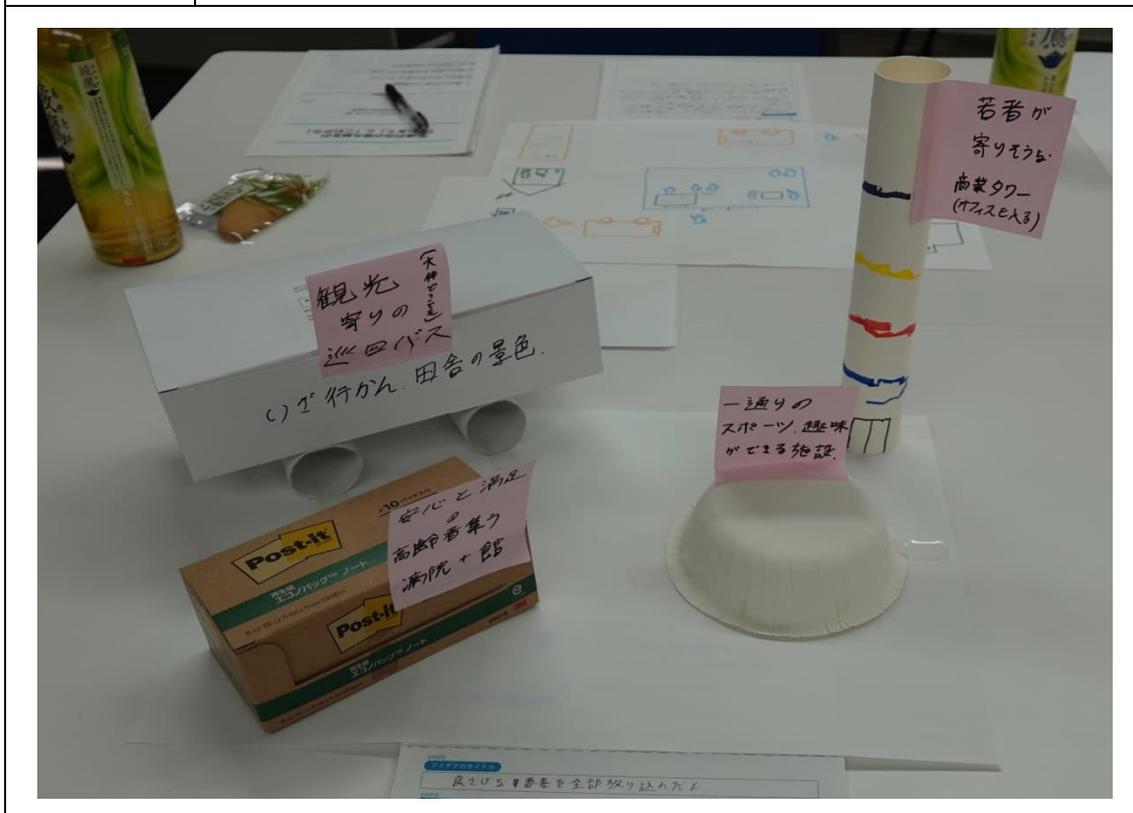


表 18 アイデア No.16

タイトル	湯沢の自然を活かした観光スポット
キーワード	観光地 湯沢の自然を活かしたい
説明	ドーム型の建物（ガラスにして中が見えるようにする） →中はイベントなどでみんなが集まりたくなるような... ドームの周りにはたくさん花などの植物を植えて自然豊かにする（花園のような） キャンプができるようにする 泊まることのできる建物をいくつか建てる 山がきれいに見える場所に作る

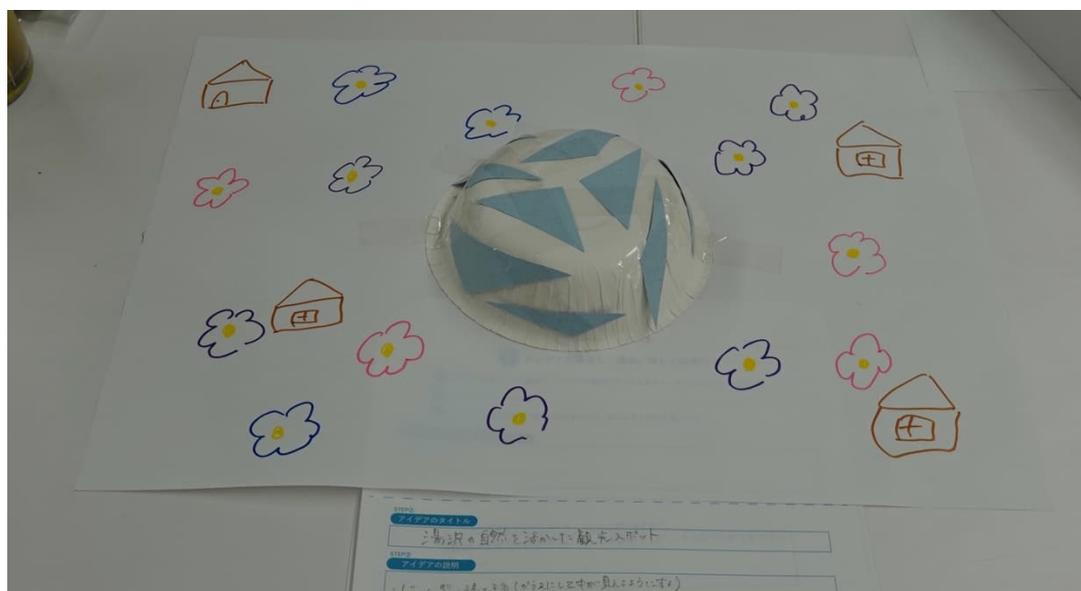


表 19 アイデア No.17

タイトル	市の中心部に防災拠点となる病院
キーワード	総合病院が市の中心部にできてほしい バスが手を上げれば乗れて、降りる場所も自由に降りればいい 駅前におみやげ屋さんがたくさんできればいい 公園に災害時用マンホールトイレを男女別で水洗でバリアフリートイレを要望
説明	年齢を重ねてもいつまでも住みやすい湯沢市

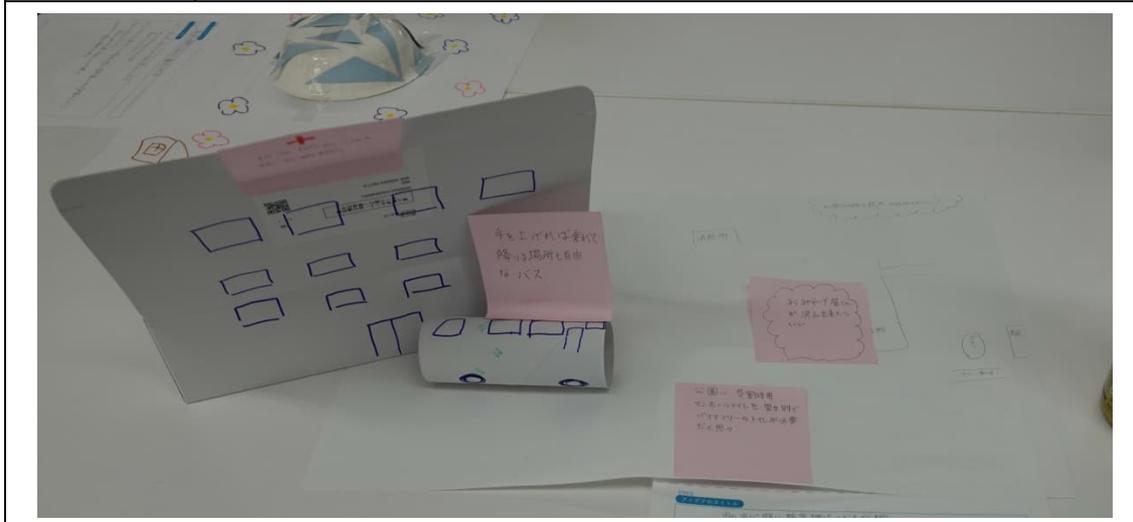


表 20 アイデア No.18

タイトル	何でもできる街ゆざわ
キーワード	人口減少 公共交通の充実 人のつながりが希薄になる 仕事がない
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・老若男女問わず「そこにいったら誰かいる」というような集の場を作る。そこに仲間がいればそこでそのまま活動したり、一緒に出かけたりできる。また、そこには「何でも掲示板」があり、困り事相談やメンバーの募集など何でも載せてよい。そこでマッチングすれば仲間が増える。 ・交通手段のない人のために、「どこでも停まるバス」を運行する。このバスは手を上げればどこでも停まってくれて、病院や観光地に行くことができる。 ・テレワークを普及させ、湯沢にいても首都圏と同等の仕事ができるようにする。在宅勤務はもちろんのこと、コワーキングスペース等も充実させる。 ・人口が減って家が少なくなっても何でもできる湯沢にする

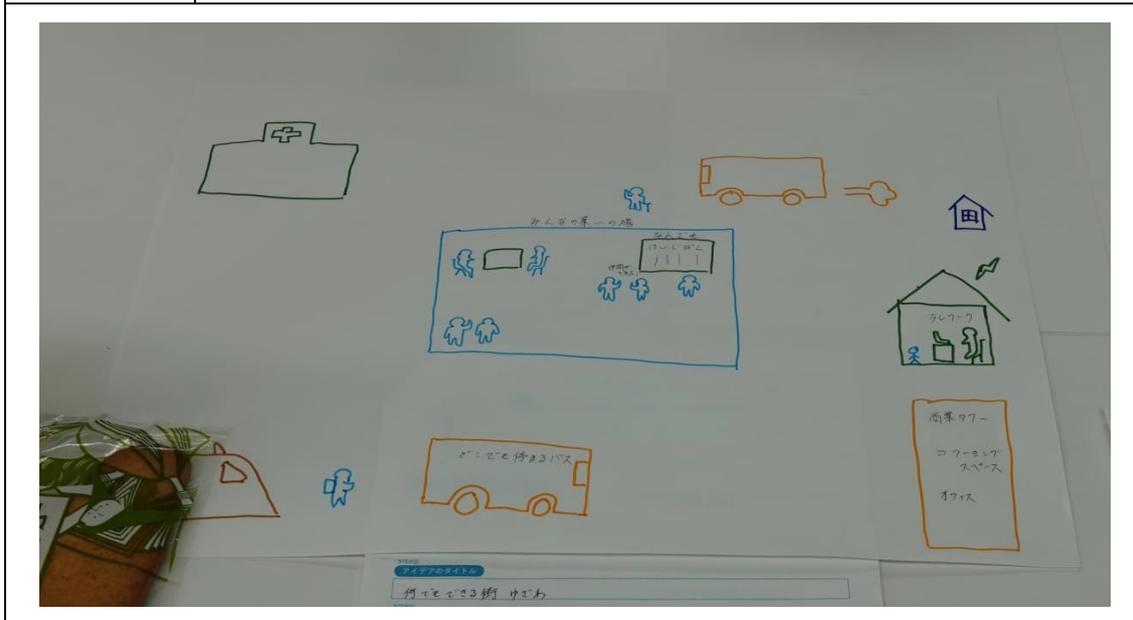


表 21 アイデア No.19

タイトル	サブカルストリートゆざわ
キーワード	娯楽施設 遊び場づくり 関係人口
説明	<p>駅前にどどーんとサブカルに関連するストリートを作る。</p> <p>オタクは寄ってくるので金を落として頂く。</p> <p>月一で開催される歩行者天国ではコスプレ大会等を開く。</p> <p>唯一の観光客呼び込みチャンス絵どうろう祭りでは、アニメ絵どうろうを集めたブースを設置、群会議事堂のプロジェクトマップには有名声優を起用する等して、SNSでの口コミで人を呼ぶ。</p> <p>湯沢でしかできないものを提供する必要がある。</p> <p>湯沢に通う学生も学校帰りに遊べる。</p> <p>横手に住む人も来る！と思う多分。</p> <p>醍醐あたりの若者は横手に行くより湯沢に来ると思う。</p>

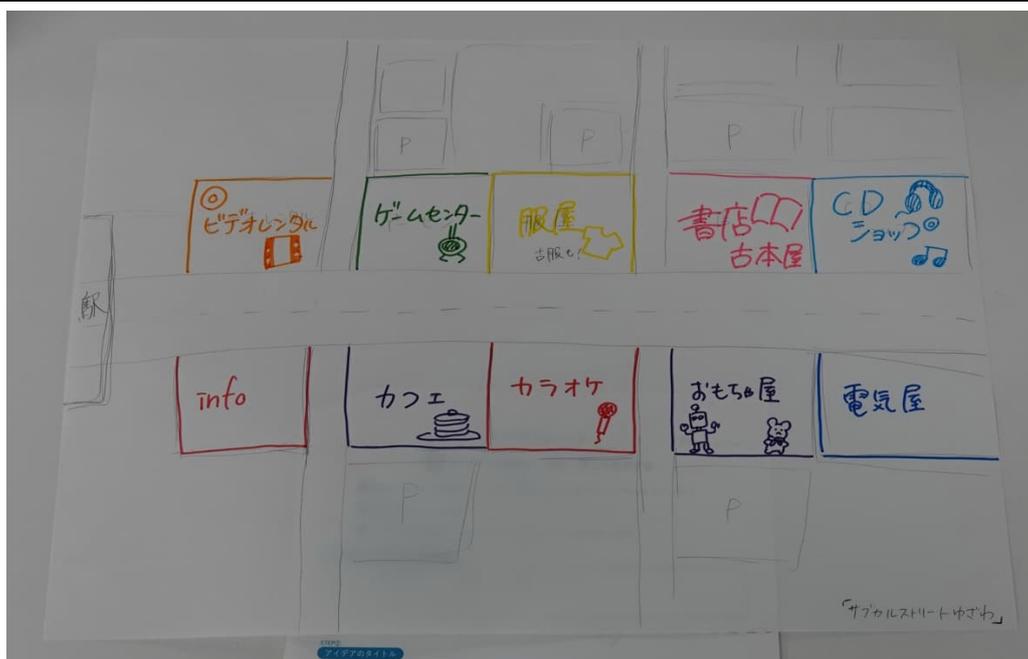


表 22 アイデア No.20

タイトル	交通機関を使いやすく！
キーワード	娯楽が少ない(ない) 高校生が立ち寄る場所がない 大人にとっても楽しめる施設が少ない 映画館も遠い
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関は便数が少なく、特に学生にとっては料金も高い ・湯沢と近隣市を結ぶバスを走らせる ・料金：一回乗車につきワンコイン ・大曲の映画館が今より近くなる ・湯沢で行うイベントを積極的にPRし、湯沢への来訪も増やす ・バスのラッピングをユニークにして、子供が乗りたくなるものもつくる

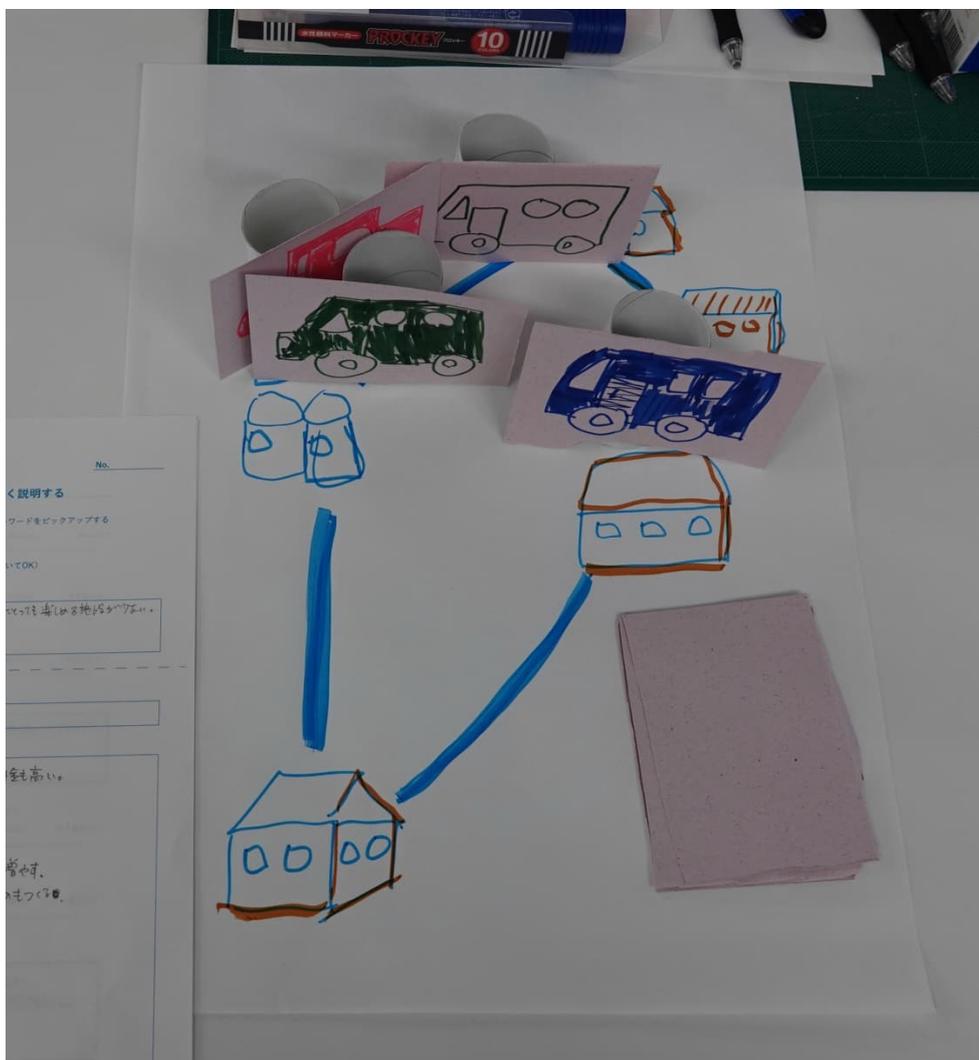


表 23 アイデア No.21

タイトル	稲川スキー場の利活用(夏場の利用)
キーワード	若者向けの娯楽 高校生の考え方 娯楽に対する交通の便
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の稲川スキー場をサバゲのフィールドホビー関連の場所として利活用する。 ・もし人が集まるようであれば、雪上サバゲ場としても一角を借り運用する ・近年サバゲ環境は親子・家族サバゲや小中高生が楽しめる形に変容してきている。若者が楽しめる娯楽施設を比較的近くに作る事で湯沢市民の満足度の向上と他市、他県からの集客を狙う

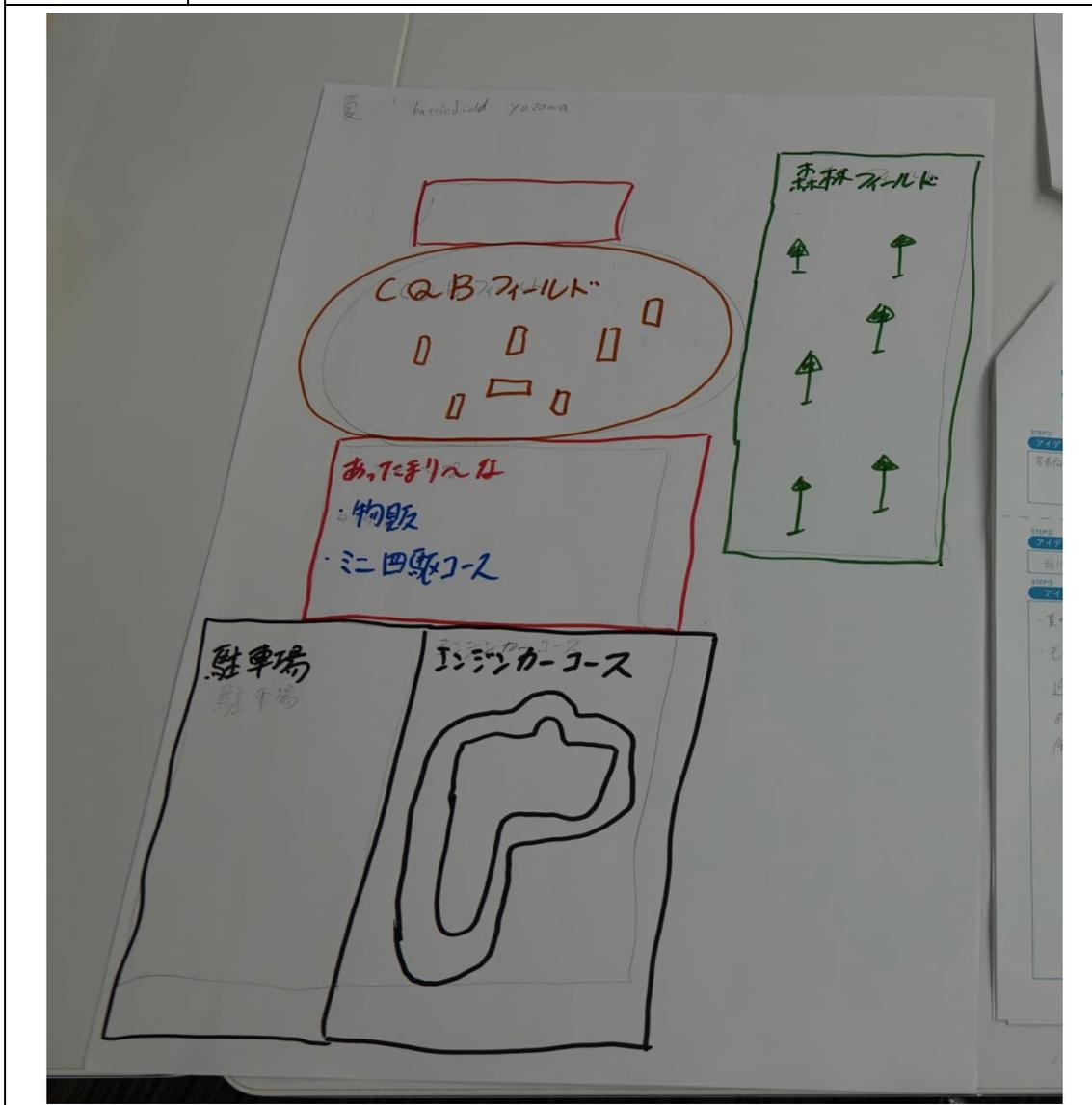


表 24 アイデア No.22

タイトル	誰もが幸せになれる場所づくり
キーワード	娯楽施設が少ない 若者の転出者が多い 医療の充実 交通の便が悪い (特に学生) 幸福度を上げる 子育て支援
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沢のイオンを増設し、映画館や専門店を入れる ・送迎バスを市内の何ヶ所から出す→学生たくさん来れるように！ ・イオンの駐車場内に子どもが遊べる公園やドッグランを作る →買い物する人は預かりサービスが受けられる！ 気軽に買い物できてイオンも売り上げUP ・週末は駐車場の空きスペースでイベントを開催 →屋外ライブやキッチンカーなど ・近隣に大型宿泊施設を建て、県外からも人が来られるようにする！ →大曲の花火へ送迎サービスなど特典あり ・近くの農家で農業体験ができる 体験した人は上記のホテルに宿泊

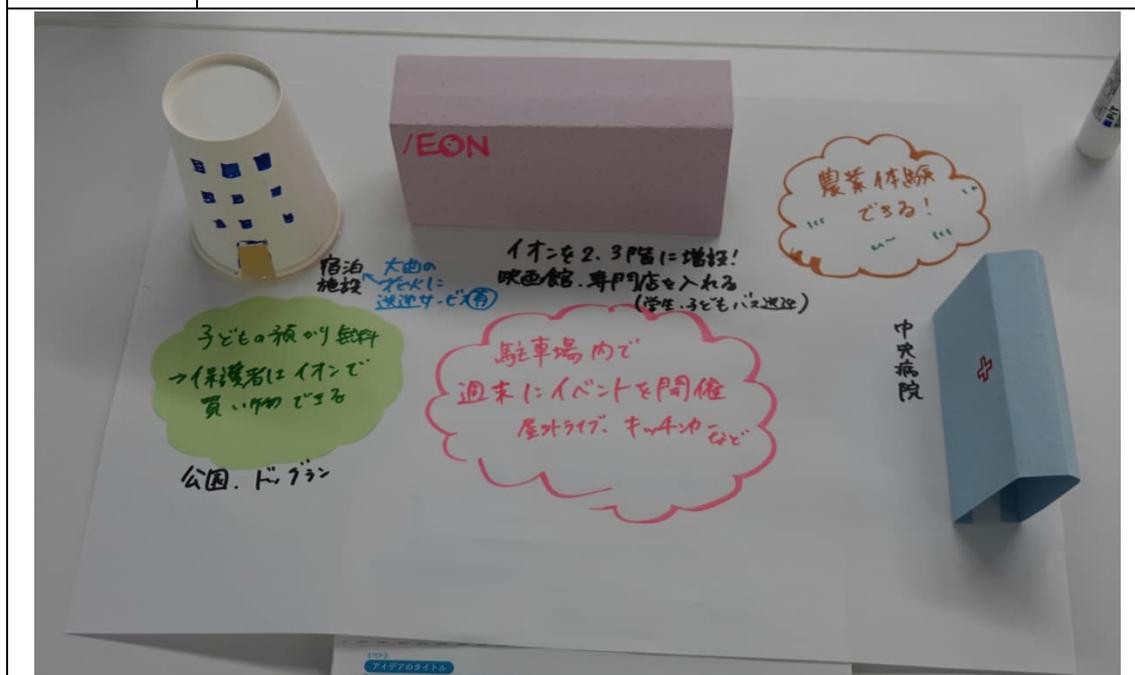
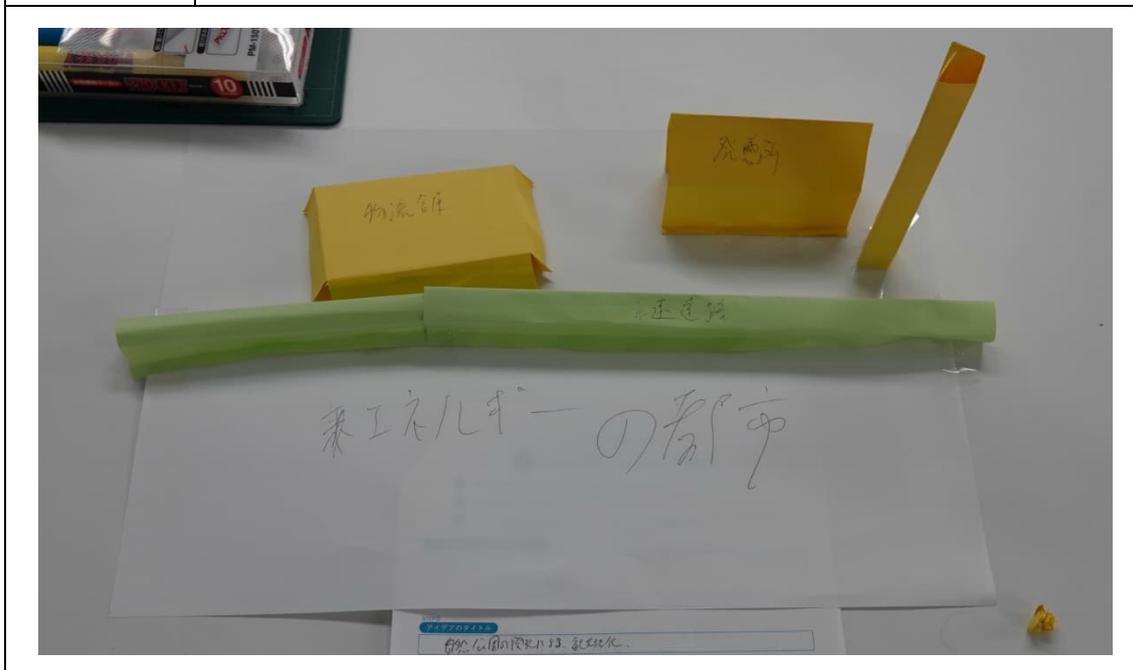


表 25 アイデア No.23

タイトル	自然公園の開発による観光地化
キーワード	ショッピングモールの新設 稲川のスキー場でのサバゲー 乗合タクシー
説明	湯沢市にはジオパークを観光として紹介が行われている。 特に川原毛地獄をはじめとする温泉がわき出しており、それを利用した地熱発電所の建設も決定したため、これを観光に利用しようと思った。近年環境に影響の少ないエネルギーとして話題となるため、温泉としての魅力だけでなく、技術についても学びの場を設けられ、観光地にできると考える。また、山形県との高速道路も開通するため、アクセスの面でも良いなと思った。



4.3 ワークショップ参加者の湯沢市の未来に対する意識変容について

4.3.1 事前事後アンケートの5件法の回答について

事前事後アンケート(有効回答 23 件)により、ワークショップの参加者の意識変容について分析を行った。

アンケートの回答結果に対し最も肯定的な回答(例:興味がある)を5点とし、順に1点ずつ減少し、最も否定的な回答(例:興味がない)を1点として平均値および標準偏差を算出した。回答結果について、正規性・等分散性がみられなかったため、ウィルコクソン符号順位検定を用いて統計分析を行った。

表 26 事前事後アンケートの5件法の回答結果

	質問項目	事前	事後	検定結果 (p-value)
		平均値±標準偏差		
Q1	湯沢市の未来に興味はありますか	4.5±0.58	4.6±0.49	有意差なし (0.7266)
Q2	湯沢市の未来について考えることは楽しいと思えますか	3.4±1.1	4.5±0.58	有意水準 1%で有意 (1.526e-05)
Q3	湯沢市の未来を想像できますか	3.2±0.98	4.0±0.75	有意水準 5%で有意 (0.01025)
Q4	湯沢市の未来について、友達や家族と話してみたいと思えますか	3.8±0.93	4.3±0.62	有意水準 1%で有意 (0.007812)
Q5	未来の湯沢市に住みたいと思えますか	3.5±3.6	4.2±0.83	有意水準 1%で有意 (0.0009766)

「湯沢市の未来に興味はありますか」以外の質問項目について、アンケートの点数が有意に増加した。Q1では有意なポイント増加が見られなかったが、事前アンケートについてQ1の平均値が他の項目に比べて高かったことから、本ワークショップの参加者は参加以前から湯沢市の未来に興味があり、湯沢市の未来に対する関心が高まる余地がなかった可能性がある。Q2~5について、全て有意なポイント増加が見られたことから、本ワークショップに参加することで湯沢市の未来に対する「ポジティブな姿勢」「想像力」「周囲の人とのコミュニケーション」「希望」について、効果的な意識変容があったと考えられる。

4.3.2 自由記述回答「未来の湯沢市はどのようになっていると思いますか」について

事前事後アンケートの自由記述の内容を比較した表を以下に示す。なお表中の色は湯沢市の未来に対してどのような姿勢の記述であるか示している。「オレンジ：楽観的・積極的な記述」「青：悲観的・消極的な記述」「緑：中立的な記述」「白：わからない、無回答」

表 27 「未来の湯沢市はどのようになっていると思いますか」自由記述回答結果

回答者 No.	事前	事後
1	人口が減少し、活気の少ない街並み 若者一人の負担が大きくなる	活気のある街（になってほしい） 経済面での問題があると思うが、思いきった政策を考えることが重要だと思う
2	少ない人口ながらも何とかほそぼそ？	住む人が楽しんでいる市
3	人口がさらに少なくなっていると思う	施設が増えて、住みやすい町になっていく と思います。
4	わからない	明るい
5	現段階では想像できない	（無回答）
6	超高齢化社会 市が無くなっている。他の市町村と合併	人口は減っているが、良くしようという人が 増えていると思う
7	高齢化・過疎化が進み、若者も離れてしま う（今のままだと）	よりよい方向にシフトチェンジすれば幸福 度が上がって湯沢にいたいと思う人が増え る
8	いまのままだと、人口減少が続いて、湯 沢市在住の人が少なくなると思います。	明るくすごしやすいような湯沢市になっ ていると思います。
9	未来の湯沢市を選ぶ人にとって、幸せを 感じることができる場所になっている と思います。	湯沢市で生きていく皆さんが幸せだと感じ ることができるすばらしい街になっていく と思います。
10	少子高齢化如実に現れている。 部活動の数もどんどん減り、活気もなく 子育てしづらい街になっていると思う	今日の発表されていた内容が実現できたら、 住みよい街になっている。
11	いま、高齢化がどんどん進んでいる もっと逆ピラミッド型の人口割合にな ると思う。	人口がピラミッド型になっているはず
12	今現在のままいけば人口減少によりサン ロード等さらに廃れていると思う	人口が増加して、より活気があるいい街に なっていると思います。
13	人口減少が進んでいると思う。 でも、自然・食べ物・住んでいる人たち はみんないい！	人口減少の中でも、地域が連携した町にな っていると思います。
14	音楽で街おこしのできる市	コンパクトで若者、年配者問わず楽しい街 （楽しめる）
15	良くも悪くも田舎になっている 住んでいる者はゆったりと過ごしてい るのではないか	基本的には以前と変わらないが、考えてい たより子育てしやすい環境であると思っ た。この認知が広まれば、変わってくるか もしれない
16	より人口減少が進む	観光地や医療機関をもっと増やせば、人口 減少が防げると思った。
17	総合病院が湯沢市内中心部にあってほ しい バスが手を上げると停まるようになっ て欲しい	年を重ねた人たちが増えていると思う

18	人口減少が進み、近隣市町村と連携（または合併）しながら維持している自治組織の構成員に若者が多くなり、逆に活気が出てくる	人口減少は進みながらも、新しい繋がり（近隣の市町村も含め）を見つけ、湯沢に残る人は暮らしていく
19	人口減少で廃れたシャッター街歩いても高齢者しかいない全ての小学校が統合	このままいけば人口減少で横手に吸収されることになると思うが、今日のワークショップで出たアイデアのようなことが叶えば、楽しい市になると思った
20	人口が減る→活性化が難しい、人通りがない、さみしい	皆で意見を出し合って、人口減少の幅を少なくするような取り組みができるようになっていっていると思う。
21	人口の減少は続き、市としての成立は非常に困難と思われる	娯楽に対する意見が多く出たと思う。なので、そういった場所やイベントが増えるようになっていけば、良い場所になっていくと思う。
22	人口が減少して、過疎化が進んでいる	市民の幸福度が高まっていればいいなあ 県外・市外の人に興味を持ってもらえるようになっていっているといいなあ
23	工業の町	物流・エネルギーのまち

表 28 記述の分類

	事前	事後
楽観的・積極的な記述(アイデアの記述を含む)	6	20
悲観的・消極的な記述	13	1
中立的な記述（どちらとも取れる記述）	2	1
わからない、無回答	2	1

事前アンケートでは楽観的・積極的と考えられる未来の記述は6件(表中のオレンジ)、悲観的・消極的な未来の記述が13件(表中の青)、中立的な記述は2件(表中の緑)であった。わからない、想像できないという記述が2件であった。事後アンケートでは、悲観的な記述が1件、楽観的な未来の記述が20件、中立的な記述は1件、無回答1件であった。

事前アンケートでは半数の回答が「人口減少」「高齢化」の観点から湯沢市の未来に対して悲観的であった。一方、事後アンケートの回答では、人口減少等の市の課題があることを理解した上で、今後の変化を期待する楽観的・積極的な未来に関する記述をしている回答が多く見られた。本ワークショップでは、市の課題に対する理解が深まり、湯沢市の未来に対して、悲観的・消極的であった姿勢から、楽観的・積極的な姿勢へ変化する効果があったことが示唆された。

4.3.3 自由記述回答「本ワークショップの感想を記入してください」について

自由記述「本ワークショップの感想を記入してください」について、回答者と回答内容を合わせた表を以下に記載する。

表 29 「本ワークショップの感想を記入してください」自由記述回答結果

回答者 No.	回答内容
1	とても良い機会を与えて頂き感謝します。 実際に、幅広い世代の方と話し合うと「こんな視点もあったんだ」というような発見があって楽しかったです。
2	色々なアイデアが集約されて未来へつながってほしいと思えた内容でした。
3	様々な人たちの意見を聞くことで色々な面白い視点から考えることができとても刺激的だった。
4	色々な考えを多く知ることができ、とても実りある日でした。
5	変えられるもの、変えられないもの、残さなければならないもの、残してはいけないもの、改めて、考えさせられました。自分よりも年下の市民へはよりよい湯沢を残してあげたいと思います。年配の方へ対しては、今よりもよりよい湯沢での生活を提供できたら良いと思いました。本日は貴重な時間をありがとうございました。
6	湯沢市の事を考えている様々な人やアイデアを共有できてよかった
7	話し合いだけでなく、手や体を動かして湯沢の未来について希望を持って話し合いできたと思う。良い体験になりました。
8	自分は、人とコミュニケーションをとることが苦手で、少しでもうまくなろうと今回のワークショップに参加しました。皆さんが優しく話をしてくれたのでとても話しやすかったです。
9	湯沢市に残りたいと何度も思いながら、県外への就職を決めました。自分の将来を考えるタイミングにこのような機会があったら、湯沢市で生きていく決断に変わっていたのかと思います。自分の力を大好きな湯沢市のために役立てたいと改めて思えるすばらしい機会でした。
10	同じ意見を持っている人がこんなにもいるんだと実感した。しかし、やはりその意見はどんどん出していかないと“想い”だけで終わってしまって勿体無いので、ぜひ、市で実現していただけるところは実現に向けて本気で取り組んで欲しいと思う。どうか、「意見を聞いて終わり」にしないでほしい。
11	作業の時間がもっと欲しいと思った。時間が短すぎて、マップがあまりできなかった。
12	今回、色んな人の考えを聞き、自分の意見も出せたのでとても楽しいものでした。次回もあるか、参加できるかわかりませんが、また参加したいです。

13	普段関わらないような色々な方々と交流することができて、とてもいい経験になりました！また、他の方の意見を聞いて、「こんな発想もあるのか！面白い！」と思いました。自分の視野が広がりました。参加させていただき、ありがとうございます！
14	日常生活では体験できないこと経験しました。年齢も職業も性別も関係なく話ができ、非常に楽しかったです。
15	他の人の意見を聞いて、自分の考えも否定されないのが、話しやすく、のびのびとできる楽しい時間だった。思っていたより短い時間に感じた。 市の現状を知る良い機会でもあった。
16	少し緊張しましたが、たくさんの人と話し、アイデアや意見を交換し、工作してみたり楽しかったです。未来を考えることが楽しくなりました。自分の考えもより深くなり、様々な視点で物事を考えることができて良かったです。
17	自分でも想像できない考えを聞く機会をいただけて、感謝です。ありがとうございます。
18	参加者の皆さんが現状を踏まえつつも未来に希望を持った意見やアイデアを出していて、少し希望が持てました。未来の湯沢がどのように今後良くなっていくのが楽しみになりました。
19	今まで絶望しかなかった湯沢の未来に少し光が射したような気がした。こういう場はこれからも設けていくともっといろいろな人が興味・関心を持つと思った。
20	人口減少が常にクローズアップされる中で、諦め感があるが、特に若い人が話し合うことで、前向きに考えられるようになると感じました。
21	自分自身思うところがあり行動しているが、それに対して参考になる良い機会であった。あまり若い人と交流がないため、貴重な意見をいただけたと思う。
22	年代や職種の違った方々と意見交換ができて、想像しているより楽しかったです。今回は抽出された市民が対象でしたが、お祭りやイベント等、屋外、商業施設などに立ち寄った人から意見を募れるような企画もあればいいなと思います。
23	会社外のコミュニティで話すことができてよかった 高校生視点の湯沢の話聞くことができてよかった 湯沢市の未来について、自身と全く異なる考えや、意見を聞いて良かった

感想として、多様な視点からの意見が得られた。結果について、恣意的な解釈を極力受けないことを目的として、分析ソフト KHcoder¹を使用してテキストマイニングを実施した。自由記述から抽出された 1029 語のうち、430 語を分析に使用した。テキストマイニングの結果は分析ソフトにより、共起ネットワーク(抽出語を用いて出現パターンの似通ったものを線で結んだ図)を作成し、頻出語を分類した (図 1)。

¹ (参考) <https://kxcoder.net/>

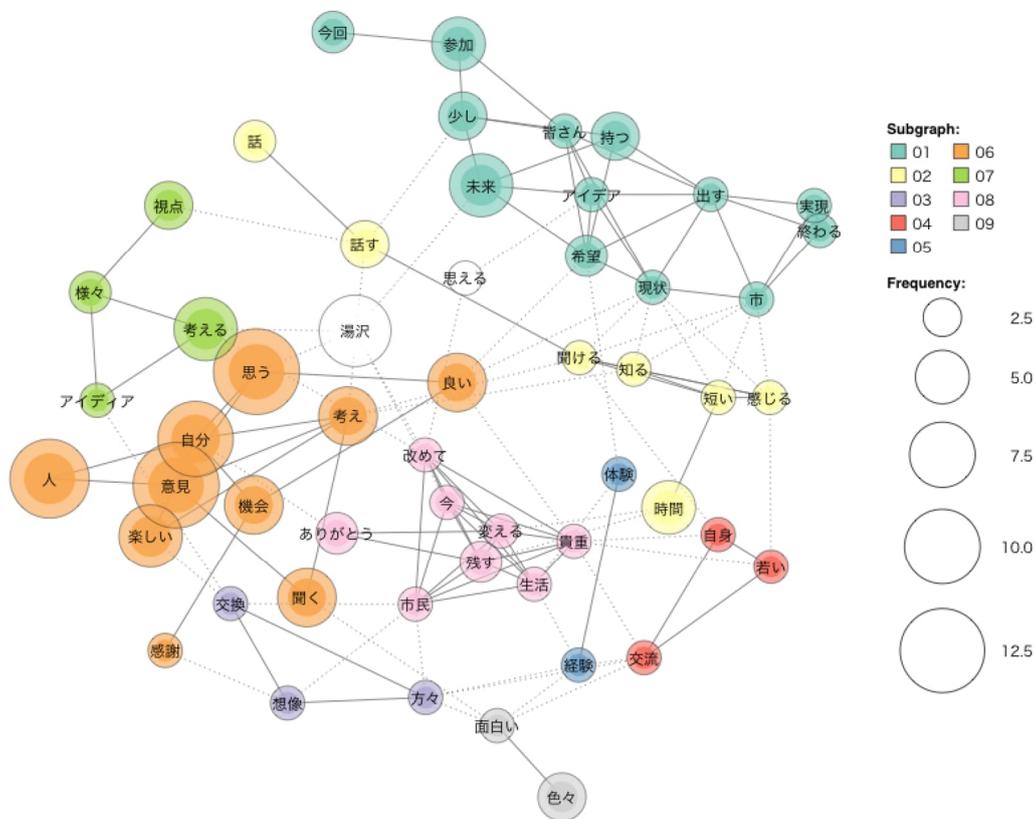


図1 「本ワークショップの感想を記入してください」自由記述回答の共起ネットワーク

共起ネットワークについて、語の出現頻度が円の大きさに対応し、語同士の関連性の強さが、語を結ぶ線の太さに対応する。円の色は、関連性の強い語群を示している。

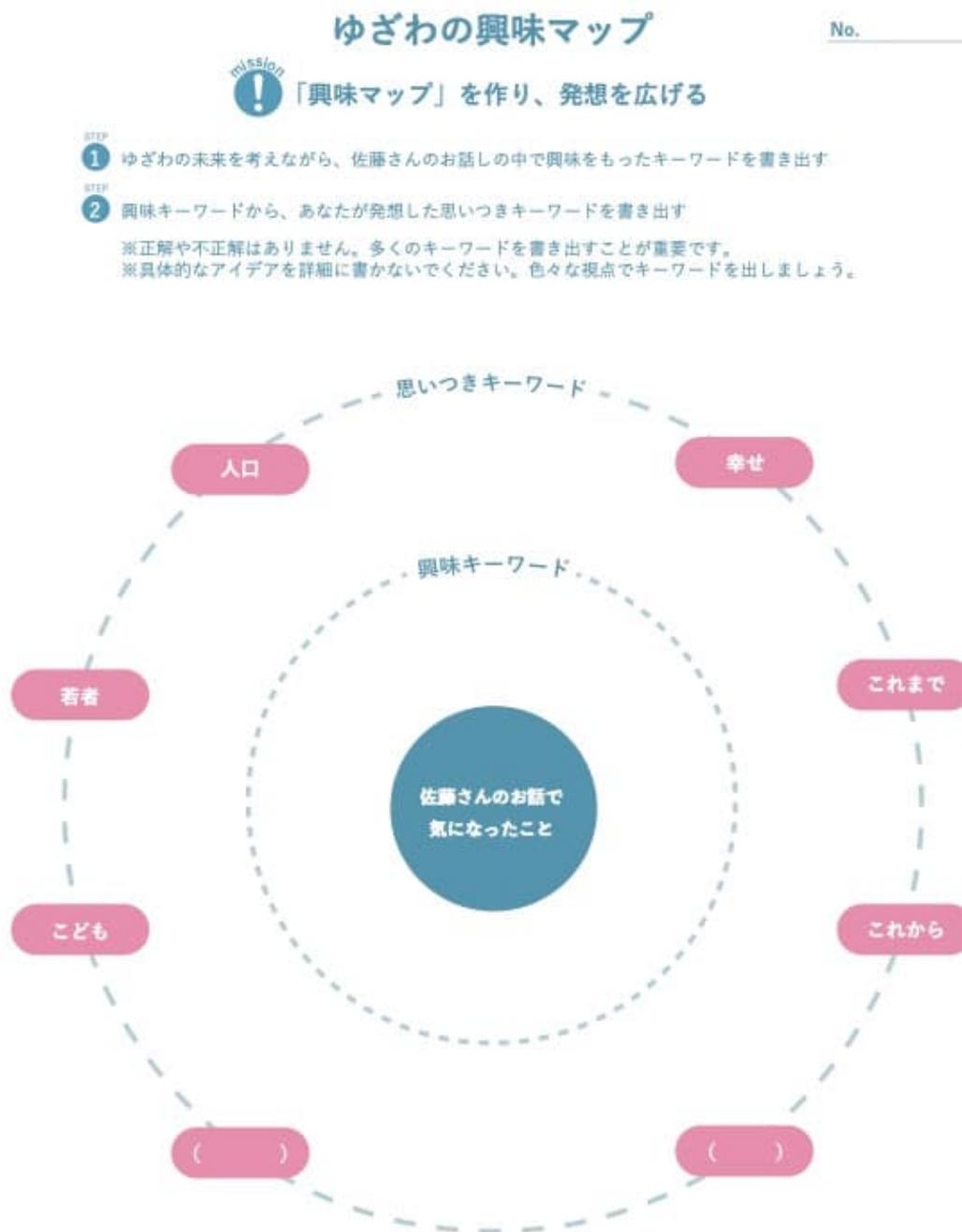
左下のオレンジ部で出現頻度が多かった「意見」に強く関連した語として、「自分」「楽しい」「機会」「人」などの語が抽出された。ワークショップで自分の考えや意見を話したり、聞いたりすることが楽しい機会であり、肯定的な感想を抱いた可能性がある。

右上の青緑部で出現頻度が多かった「未来」に強く関連した語として、「希望」「アイデア」「皆さん」「少し」などの語が抽出された。湯沢市の未来に対するアイデア展開を通じて、市の現状の理解や未来に対して希望を持つような感想を抱いた可能性がある。

そのほかの語群についても、市民の皆様が意見交換やアイデアを考える本ワークショップに対して、概ね肯定的な感想を抱いたと推察できる。

5. 付録

5.1 ワークシート「興味マップ」



5.2 ワークシート「アイデアシート」

アイデアシート

No. _____



アイデアを整理し、深め、詳しく説明する

STEP

① 作成した興味マップを参考に、アイデアの素材になったと思うキーワードをピックアップする

STEP

② アイデアのタイトルを書く

STEP

③ アイデアの内容を書く（表現しきれなかった、新しいアイデアも書いてOK）

STEP①

アイデアの素材となったキーワード

STEP②

アイデアのタイトル

STEP③

アイデアの説明

5.3 事前事後アンケート

事前アンケート

No. _____

1. 湯沢市の未来に興味はありますか

興味がある すこし興味がある どちらでもない あまり興味がない 興味がない

|-----|-----|-----|-----|

2. 湯沢市の未来について考えることは、楽しいと思いますか

そう思う すこしそう思う どちらでもない あまりそう思わない そう思わない

|-----|-----|-----|-----|

3. 湯沢市の未来を想像できますか？

想像できる すこし想像できる どちらでもない あまり想像できない 想像できない

|-----|-----|-----|-----|

4. 未来の湯沢市はどのようになっていると思いますか？

5. 湯沢市の未来について、友達や家族と話してみたいと思いますか？

そう思う すこしそう思う どちらでもない あまりそう思わない そう思わない

|-----|-----|-----|-----|

6. 未来の湯沢市に住みたいと思いますか？

そう思う すこしそう思う どちらでもない あまりそう思わない そう思わない

|-----|-----|-----|-----|

以上で事前アンケートを終わります。ありがとうございました。

事後アンケート

No. _____

1. 湯沢市の未来に興味はありますか

興味がある すこし興味がある どちらでもない あまり興味がない 興味がない



2. 湯沢市の未来について考えることは、楽しいと思いますか

そう思う すこしそう思う どちらでもない あまりそう思わない そう思わない



3. 湯沢市の未来を想像できますか？

想像できる すこし想像できる どちらでもない あまり想像できない 想像できない



4. 未来の湯沢市はどのようになっていると思いますか？

5. 湯沢市の未来について、友達や家族と話してみたいと思いますか？

そう思う すこしそう思う どちらでもない あまりそう思わない そう思わない



6. 未来の湯沢市に住みたいと思いますか？

そう思う すこしそう思う どちらでもない あまりそう思わない そう思わない



7. 本ワークショップの感想を記入してください

以上で事後アンケートを終わります。ありがとうございました。

～ゆざわの若者で語り合おう!～

市民ワークショップ

日時 9月23日(月・振) 13:00-16:00

場所 湯沢市役所本庁舎2階会議室25・26

「ゆざわの未来」を考える

今から約25年後の2050年、国の推計では湯沢市の人口は2万人を下回ると予想されています。人口減少が加速する中で、これからのまちづくりは何をするべきか?どうあるべきか?ぜひこの機会にゆざわの未来を担う若者たちで話し合ってみませんか?

● ポイント

- ① 堅苦しくないリラックスした雰囲気の話し合いです。
- ② 専門知識や事前準備は不要です。
- ③ 託児室を開設します!子育て中の皆さんもぜひご参加ください。
※当日の急な対応はできませんので、事前にお申込みくださるようお願いいたします。



● 申込方法

同封の参加同意書に必要事項を記入の上、8月26日(月)までに返信用封筒にてご提出ください。(切手は不要です)

参加に同意いただいた方の中から20人程度を選出します。申込多数の場合は参加いただけない場合がありますのでご了承ください。



● 問合せ

湯沢市役所総務部企画課企画政策班
TEL:0183-73-2113



人口減少対策の
関連計画

湯沢市人口ビジョン(H27策定)



第2期湯沢市まち・ひと・しごと
創生総合戦略(R2策定)



※ワークショップは一般公開で行います。また、記録のためビデオ又は写真撮影を行い、ワークショップの結果を報告書にとりまとめ公開します。



次期湯沢市総合戦略策定関連事業
「～ゆざわの若者で語り合おう！～市民ワークショップ」
開催報告書

令和6年10月
湯沢市総務部企画課・株式会社アクトラス